



“聴こえ”の視点から認知症予防・改善分野にアプローチする新たな取り組み

「発声と”聴こえ”のワークショップ」を開催しました

～プロナレーター渡辺克己氏による介護職員への特別研修～

メディカル・ケア・サービス株式会社（本社：埼玉県さいたま市、代表取締役：山本教雄、以下、MCS）は、7月3日、業務提携するユニバーサル・サウンドデザイン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：中石真一路、以下、USD）監修のもと、ナレーター・役者として活躍する渡辺克己氏をお招きし、「発声と”聴こえ”のワークショップ」を開催いたしました。

○実施の背景

MCSは1999年の創業以来、認知症高齢者対応の「愛の家グループホーム」を軸に、一貫して認知症ケアに取り組んでまいりました。今年3月、今後一層深刻化する認知症介護における様々な課題の解決に向けて、難聴者に対して話者側から歩み寄るという新しいコミュニケーション支援を展開し、卓上型会話支援システム『comuoon®（コミュニケーション）』を開発・販売するUSDと資本業務提携契約を締結。MCSが展開する認知症介護事業を通して、USDがこれまで培ってきた音声コミュニケーション支援技術を「認知症予防・改善分野」に広げていくことを目指し、共同で事業に取り組んでいます。今回、その取り組みの一環として、MCSの介護職員を対象に、介護者側の“発声”に着目した特別研修を行いました。

○ワークショップの概要

- 【開催日時】2018年7月3日（火）17:00～19:00
- 【場所】メディカル・ケア・サービス株式会社 東京オフィス
東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル13F
- 【登壇者】渡辺克己氏（ナレーター・声優・俳優）
- 【監修】中石真一路氏（ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社 代表取締役）
- 【参加者】MCS社員 約40名
（エリア責任者、事業所責任者、ケアスタッフ、理学療法士、言語聴覚士）
- 【内容】・発声と”聴こえ”の関係性
・声を出すとはどういうことか、発声の仕組み
・相手に伝わる声の出し方
・より良いコミュニケーションにつなげるための発声トレーニング法と実践

【登壇者プロフィール】渡辺克己氏（ナレーター・声優・俳優）

- 主な番組ナレーション：日本テレビ放送網「NEWS ZERO」
BS朝日「ディーププラネット」
- 主なCMナレーション：Volkswagen、NTT docomo、ネスカフェ、
- その他、各種イベント(展示会・記者発表・大会)でのMC、
映画予告ナレーション、ラジオパーソナリティを行う等、
ナレーション活動を中心に活躍中



○当日の様子



渡辺氏より、相手に聞き取りやすい発声として、声の出し方の基礎から、「誰に」「何を」伝えたいのか目的をしっかりと定めて話すことの重要性についてお話いただきました。

また、発声トレーニングでは、息のみでの発声や高い声での発声、口を横に開いた状態で一つひとつの言葉をしっかりと発音する方法など、様々な発声方法を社員とともに実践しながらご指導いただきました。代表してトレーニングを実践した社員の発音は、言葉一つひとつがはっきりと聴こえ、他の参加者からも拍手が起こるほど効果が顕著にみられました。

現在、MCS が運営する愛の家グループホームでは、USD 開発の卓上型会話支援システム『comuoon®』を試験的に導入し、その効果検証を進めております。スピーカースystemによる聴覚障害者支援を展開する USD との共同事業は、“聴こえ”の視点から認知症予防・改善分野へアプローチするというこれまでにない全く新しい取り組みであり、今後も MCS は、各種研究機関や大学、企業等と積極的に連携しながら、「予防」「改善」「緩和」のそれぞれの領域で、認知症ケアの先進的な取り組みを展開していきます。

※MCS と USD が共同で取り組む事業プラン

1. 認知症ケア・予防プログラムの開発

認知症高齢者の聴力を定期的に計測し、聴力特性に最適化した製品提供と聴覚リハビリを実施します。聴こえの改善によるリハビリ効率の向上と脳機能への影響による認知症予防の効果を実証します。

2. 『comuoon®』が与える認知症高齢者および介護者への影響の検証

難聴（特に感音性難聴）を有する認知症高齢者とのコミュニケーションを『comuoon®』により円滑に行うことで、中核・周辺症状への影響と介護職員の介護負担の軽減を検証します。

3. 高齢者にとって心地良い空間設計の開発

高齢者にとって聴こえが良い環境、難聴による認知症の進行を抑止した環境を、施設設計の段階から企画し、開発します。

4. 「株式会社ケアスター※」による販路拡大強化 ※MCS の 100%子会社（事業内容：福祉用具の販売・レンタル）

産学連携による効果検証をもとに、福祉事業者や個人等への販売チャネルを開拓します。

※卓上型会話支援システム『comuoon®』

『comuoon®』は、聴こえが気になる方に対して、話者側から歩み寄るといったコミュニケーション支援の新しい形を実現した、卓上型会話支援システムです。補聴器のように従来の”聴き手”側のみの問題に焦点を当てるのではなく、”話し手”の声を聞きやすい音質に変換しコミュニケーションを支援します。



【会社概要】

メディカル・ケア・サービス株式会社

1999年に埼玉県さいたま市で創業。認知症高齢者対応のグループホーム「愛の家」を軸に、一貫して認知症ケアに取り組み、その専門性を強みとした多様な介護サービスを展開。2017年10月には、グループホームの運営居室数が日本一となり、同年12月には居室数5,000室を突破しました。また、急速に介護市場が拡大する中国や東南アジアでも積極的に事業を推進しています。

設 立 : 1999年11月24日

所 在 地 : 埼玉県さいたま市大宮区大成町1-212-3

代 表 者 : 代表取締役社長 山本 教雄

従 業 員 : 約5,900名(連結)

拠 点 : 日本国内28都道府県303箇所、中国上海市、南通市、広州市、マレーシア

(2018年8月1日現在)

<本件に関するお問い合わせ先>

TEL : 03-6895-7260 (担当: 経営企画室 安國) MAIL : ml_keieikikakushitsu@mcsj.co.jp